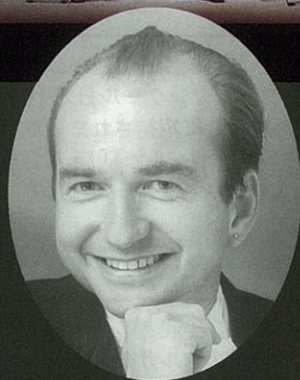


初演の地ウィーンから指揮者を招いて

# '97 春日井市民第九演奏会



指揮  
アレクサンダー・ドゥルカー



ソプラノ  
松波 千津子



アルト  
森山 京子



テノール  
大間知 覚



バス  
稲垣 俊也

1997.12.7 SUN

開場▶14:00 開演▶15:00

春日井市民会館

入場料1,000円(全自由席)

指揮 アレクサンダー・ドゥルカー  
ソプラノ 松波千津子    アルト 森山 京子  
テノール 大間知 覚    バス 稲垣 俊也

管弦楽 春日井市交響楽団  
合唱 春日井第九合唱団    合唱指揮 吉川 朗  
曲目 ベートーヴェン作曲  
交響曲 第9番「合唱付き」 作品125

チケット取扱い場所(発売日10/7◎より)

春日井市役所2F情報コーナー・春日井市民会館・春日井市東部  
市民センター・春日井市内各公民館(中央、知多、鷹来、坂下)・春  
日井市内ふれあいセンター(味美、高蔵寺、南部、西部)

主催/春日井市・春日井市教育委員会・  
'97春日井市民第九演奏会実行委員会  
共催/春日井市交響楽団・春日井第九合唱団  
後援/中部大学・中部大学女子短期大学・中日新聞本社

お問い合わせ先

'97春日井市民第九演奏会実行委員会 ☎0568-51-1111    春日井市企画調整部文化課 ☎0568-85-6079

## 管弦楽 春日井市交響楽団

平成2年11月、春日井市初のアマチュアオーケストラとして生まれました。翌年創立記念演奏会を開き、以後毎年、春日井市民会館で多くの市民を集めて定期演奏会を行い、今年の7月に第6回を迎えました。名誉会長に鶴飼一郎春日井市長、会長に山田和夫中部大学長を迎えて、団長の花村浩克を中心とした55名の団員の活躍は、春日井市

## 合唱 春日井第九合唱団

平成5年12月の春日井市制50周年記念第九演奏会に出演した春日井市民を中心に結成された合唱団。それ以降、毎年12月に開かれている春日井市民第九演奏会に、200名の大合唱団として出演しています。創立以来、ベテランの指導者吉川朗先生の熱心な指導に加えて、団長の荒川昭代のおおらかな人柄とそれを支えるスタッフの優れたリーダー

## 指揮者 アレクサンダー・ドゥルカー

いま、もっとも活躍中のウィーンの若き指揮者。1995年以来、クラーゲンフルト(オーストリアのケルンテン州の首都)の準音楽監督をつとめています。交響曲や協奏曲の指揮のほか、オペラのレパートリーも多く、「フィデリオ」「リゴレット」「セヴィーリアの理髪師」「コシ・ファン・トゥッティ」「ボエム」などを指揮して好評です。1992年にウィーン音楽大学の大学院で指揮のディプロマ(資格証明)を取り、オーストリア

## ソプラノ 松波 千津子 まつなみ・ちづこ

愛知県立芸術大学音楽学部声楽科から大学院まで進みました。在学中から学内の作曲家作品発表会で、新作に数多く初演しました。これまでに「フィガロの結婚」「コシ・ファン・トゥッティ」「綾の鼓」「修善寺物語」「祝い歌が流れる夜に」「黄金の国」「唐人お吉」「春琴抄」「蝶々夫人」「袈裟と盛達」「夕鶴」「電話」などの主役を歌っています。

## アルト 森山 京子 もりやま・きょうこ

国立音楽大学を卒業後、1992年文化庁派遣在外研修員としてイタリア(ミラノ)に留学しました。G.ヴィーギ氏、A.ベルトラウト氏に師事しました。ザヴィリアーノ国際音楽コンクールで入選。オペラ・デビューは「カルメン」のタイトルロールです。1994/95年シーズンと1995/96シーズン

## テノール 大間知 覚 おおまち・さとる

国立音楽大学声楽家を卒業して大学院のオペラ科に進みました。1991年「イタリア声楽コンクール」で第1位「ミラノ大賞」を受けました。二期会修了時に「優秀賞」を受賞して会員に推薦されました。1992年よりイタリア「ジュゼッペ・ヴェルディ国立音楽院」に留学。1993年に文化庁

## バス 稲垣 俊也 いながき・としや

1961年、名古屋市生まれ。東京芸術大学卒業。文化庁オペラ研修所第7期生修了。卒業後直ぐ「第九」(東京交響楽団)のソリストとしてデビュー。90年文化庁2年派遣芸術家在外研修員でイタリア留学。91年カシナ国際声楽コンクール入賞。92年パルマヴェルディコンクール優勝。シエナ音楽祭で欧州デビュー。藤原歌劇団「ラ・ボエム」

の音楽文化の原動力となって、ますますその重要性を高めてきていると自覚しています。今年も9月の愛環「千人の第九」出演など、さらに活動の場を広げています。この春日井市民第九演奏会においても、音楽に対する情熱と豊富な経験と具体的なノウハウと優れた技術を活かした表現力豊かな演奏を実現したいと意気込んでいます。

シップが、経験豊かな合唱団員を勇気づけ、心のこもったダイナミックで質の高い演奏を生みつけています。この9月にオーケストラと共に愛環「千人の第九」演奏会に出演しました。多くの練習を重ねながら、常にほほえみあふれる友情と新たなレパートリーと広い活躍の場を作り出している合唱団です。

## Alexander Drcar

教育省から名誉賞を受けました。大学では、指揮と作曲とコンサート・ピアノとオペラ指導者(コレペティトウア)を学びました。ヨーロッパの主要劇場で、コンサートとオペラの双方の指揮者として多くの公演に出演しています。1997年の今年、バルセロナのリシュー劇場で「道化師」や歌劇「哀れな水夫」(ミュテル作曲)を指揮しました。今回、春日井市民第九演奏会実行委員会の招聘により初来日が実現しました。

宗教曲や「第九」のソリストとしても活躍。海外公演も多く、1992年世界マダムバタフライコンクール日本代表や1995年日伯修好100周年記念演奏会に招待されました。今年の10月ニューヨークのカーネギーホールで「唐人お吉」のお吉役で出演。現在最も人気のあるソプラノとして「春日井第九」は二度目の出演です。

には、ドイツのライプチヒ歌劇場に客演として出場しました。ドニゼッティ歌劇場(イタリアのベルガモ)でシモンマイヤーの「レクイエム」のライブCD録音に参加しました。パルマ、ジェノヴァでリサイタルを聞かれています。現在、藤原歌劇団団員。

国内研修員。「魔笛」「ラ・ボエム」「カルメン」「運命の力」「蝶々夫人」など、二期会の数々の主役を演じ好評でした。また、今年の7月に二期会オペラ公演の「リゴレット」のマントヴァ、11月の第二国立劇場にこけら落とし公演オペラ「タケル」に出演。二期会会員。

「ルチア」、二期会「トルヴァトーレ」「カルメン」、日生劇場「魔弾の射手」「愛の妙薬」、読売日響「アイダ」などのバス役で活躍。二期会オペラ21シリーズ「ドン・ジョヴァンニ」の主役で絶賛。第3回グローバル東敦子賞・第22回ジローオペラ新人賞受賞。二期会会員。今回第二国立劇場の「タケル」の主役に抜てきされました。

「春日井市民第九演奏会」も今年で5回を数えます。第1回は「春日井市制50周年記念第九演奏会」。500名の大合唱と120名の大オーケストラと3600名の参加者で春日井市総合体育館がふくれ上がりました。第2回は「郷土の第九演奏会」。竹本泰蔵さんの指揮で松波千津子さんをはじめ地元の代表的な歌手のみなさんにご参加いただきました。第3回は「日米協演の第九演奏会」。NYから指揮者とソリストを招きました。昨年の第4回は「新世紀の第九」。指揮者の高橋直史さんを中心に音楽大学の学生ソリストたちに出演していただきました。それで5年目の今年、いよいよ第九初演の地ウィーンから指揮者のアレクサンダー・ドゥルカーさんをお招きすることになりました。テンポも、リズムも、歌い方も、構成も、言葉も、勢いも、すべて伝統的なベートーヴェンの基本に戻ります。新進気鋭のドゥルカーさんの指揮、春日井市交響楽団と春日井第九合唱団により、今年の「春日井第九」は、古典的で新鮮な、「古くて新しい第九」を目指します。ご期待下さい。(音楽監督・都築正道)

\* 都合により出演者の変更がある場合があります。